

2030年の目標実現に向けた町の取組について

脱炭素社会の実現に向けて、町民、事業者、町が協力して、まちの地域資源のポテンシャルを十分に活用して温室効果ガスの排出削減のための取り組みを推進することが期待されます。そうした取り組みの推進を図るために、町では以下の施策等によりまちづくりの推進と合わせて、再生可能エネルギーの公共施設などへの率先した導入・活用とともに、徹底した省エネルギー・省資源、地産地消の拡大に取り組みます。

表 1 2030年に向けた町の施策例

施策	内容案
ゼロカーボンパークの実現に向けた検討・取り組みの推進	しれとこ 100 平方メートル運動・トラスト活動の推進
	公園内施設施設への再エネ導入
	移動の脱炭素化の取組（E-バイクや EV 等）
	気づきの機会提供・普及啓発
斜里版気候環境教育の推進	子ども向け環境教育の実施
	体験機会の提供
公共施設における再エネ・省エネ設備の率先導入	再生可能エネルギー導入拡大
	建物の高断熱化の推進
	LED 化等の省エネ推進
斜里版地域マクログリッドの検討	公共施設間の電力融通、防災レジリエンスの強化
地域エネルギー活用のための仕組みづくりの検討	卒 FIT 電力など地産エネルギー地消のための検討
脱炭素を軸とした近隣市町村との連携強化	地域間連携による再生可能エネルギー導入拡大の検討
	ゼロカーボンドライブの普及検討

（１）ゼロカーボンパークの実現に向けた検討・取り組みの推進

（内容例）知床自然センターなど国立公園内施設への太陽光、地中熱、EV充放電の導入を検討。吸収源対策として100平方メートル運動をゼロカーボンの取組として改めて評価するほか、脱プラスチックの取組等の推進を図る。

（２）斜里版気候環境教育の推進

（内容例）知床自然愛護少年団や博物館キッズなど町内における自然体験学習を脱炭素の学びの機会として再評価。学童施設など社会教育施設と連携して実施してきた気候変動教育を改めて斜里版気候環境教育として整理、推進するほか、学校教育との連携をはかる。

（３）公共施設における率先導入

（内容例）太陽光および地中熱に焦点を絞り導入の検討を行う。率先して導入を検討すべき施設候補案を整理したうえで、導入可能性調査を実施、町内で比較的規模の大きい施設から導入を進める。

（４）斜里版地域マクログリッドの検討

（内容例）防災レジリエンス向上の視点も念頭に、上記率先導入した行政施設間での一体的エネルギーマネジメントの導入などを検討する。

（５）地域エネルギー活用のための仕組みづくりの検討

（内容例）卒FIT電力の地域利用や長期的にはバイオマス発電導入等も見据えて、地域エネルギーを地域で活用するための仕組みづくりや関係主体（例として地域新電力会社）について検討する。

（６）脱炭素を軸とした近隣市町村との連携強化

（内容例）羅臼町との連携により、ゼロカーボンパークの検討に代表される知床国立公園における脱炭素の取組を検討する。また、斜里郡3町を含む東オホーツク定住自立圏での協働を見据えて、例えば電気自動車カーシェアリング等の広域連携運用や、各自治体における再生可能エネルギー発電電力の地域間融通の仕組み等の検討を行う。